

# 完成イメージ

約幅10m×高さ3m



一宮七夕まつりでまちを彩る  
吹流し飾りをイメージ



【場所】  
JES一宮ビル北側駐車場壁面



素材の違いによる塗りの実験



赤い卵の殻、白い卵の殻、牡蠣殻の塗りの実験



粉碎した牡蠣殻



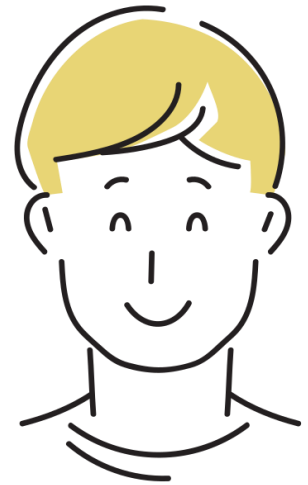
膠の濃度変化による塗りの実験

## Q.学生の方の意気込みを聞かせてください！

愛知一宮から遠いようで近い京都より、『JES一宮ビルアートプロジェクト』に向け京都芸術大学『BUYBY PRODUCTSプロジェクト』の学生が協力させていただきます。

主に大学内での資材循環システムを補助する自分たちにとってはとても規模の大きい企画で、当プロジェクトに臨み一同、張り切っております。とくにものづくりの廃材へ関心の深い我々学生は、作品の形で利活用の機会をいただくことができ、芸大生としても大変光栄に思います。

もちろんビルのトレードマークにはなれないけれど、一宮のまちを歩いていればふと見かける身近なアート作品として親しみを持っていただけるよう精いっぱい頑張ります。



## Q.どうしてサーキュラーエコノミーをモチーフとしたのか



サーキュラーエコノミーは新しいオフィスビル設計が始まったと同時に取り入れた考え方です。

新しくモノを作るときにモノを消費するだけでなく循環させるシステムづくりやつくることによって生まれる価値やエネルギーをシェアしていくような視野が地球環境的に必要な時代です。

本社ビルは建築環境評価のLEEDでメダルを取得していることもあり今回の制作につながりました。

## Q.サーキュラーエコノミー(循環経済)とは？



資源の投入・消費を抑え、製品や資源を可能な限り長く効率的に循環させ、廃棄物の発生を抑制しつつ、付加価値を生み出す経済システムのことです。